

提案書

平成19年9月7日

総務省情報通信政策局地上放送課 御中

郵便番号 460-8578

(ふりがな) なごやしなかくまるのうち

住所 名古屋市中区丸の内3-20-17

(ふりがな) かぶしきかいしゃじっぷえふえむ

氏名 株式会社ZIP-FM

だいひょうとりしまりやくしやちよう かもがしらほるひこ
代表取締役社長 鴨頭治彦

電話番号

以下のとおり、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等」に関して今後検討が必要と思われる課題について提案を提出します。

1 制度分野

- (1) 無線局の免許単位は、ビジネスモデル分野に述べている内容のサービスを実施するために、セグメント単位の免許が可能になるような制度。
- (2) 放送対象地域（サービスエリア）について
放送が基幹メディアとしての位置づけを保つため、地域の生活に根ざした優れたコンテンツを配信することができるよう、さらに、ビジネスモデル分野に述べているように地震や台風等災害時や大規模事故等における情報伝達手段として機能するため、ローカルを中心としたサービスエリアを提案する。
- (3) 周波数について
受信機の小型化が可能となるVHF帯(207.5MHz~222MHz)を第一に希望します。

2 技術分野

- ・信号伝送方式は、現在、東京と大阪で実験に使用しているISDB-T方式を提案します。

3 ビジネスモデル分野

- ・通勤時、待ち時間など時間帯を選ばず (Anytime)、屋内外の様々な場所 (Anywhere) で利用できる、主に携帯電話やラジオ、ラジカセ、携帯プレーヤー、カーナビ、ゲーム機等受信端末を対象とした無料(一部有料)の専門多チャンネル放送サービス。
- ・加えて、これまでのラジオ放送サービスの高度化(高音質、5.1ch等)。
- ・公共性の面でも、特に地震や台風等災害時や大規模事故等においては、電力供給の停止等の状況の中、携帯端末において放送受信が可能であることは災害時の非常に有効な情報伝達手順の一つとして機能する。また、災害発生時、受信機を自動起動し、緊急避難を伝達できる緊急警報手段となるほか、輻輳などにより通信回線が利用できない状況下でも詳細な安否情報や避難情報を伝えるライフラインとなる。

具体的なサービス内容

- ・音楽専門局という特性を生かし、聴取者ニーズにこたえられる音楽を中心とした多チャンネル専門放送局。(ジャズ、ロック、J-pop 等)
- ・リアルタイム聴取を中心とするが、聴取ニーズの低い夜間帯を利用してコンテンツの特性を生かした蓄積型サービスを展開する(有料)。着うたなど音楽のダウンロードサービスのほか、地域に密着した「ラジオ版折込チラシ」「店舗の開店情報」など地域ニーズにあったデータサービスを提供する。

将来的にはこれらの情報とカーナビの地図情報をリンクさせ、オモテの放送で紹介した店舗へ自動的に案内するカーナビサービスなどの展開も計画。

4 その他

本件に関する連絡先
株式会社Z I P - FM

TEL
Email